

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2022年3月15日

事業所名 なないろHome

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	0	子どもたちが伸び伸びと過ごしていけるようなスペースを確保しております。	
	2	職員の配置数は適切である	1	0	見学・面談の方に対し、対応できるよう人員を確保しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	0	今後も満足して頂けるようにします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1	0	子どもたちが見通しを持って活動に参加出来るように環境設定を行っております。	コロナ禍に合わせたアルコール消毒・換気を徹底する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	0	毎日の申し送りで活動内容の振り返りを行っております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	保護者の方の意見を取り入れて業務改善に繋げております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	グループ法人内で徹底して行っております。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	定期的に研修・申し送りする機会を設けており、年間スケジュールにも組みさせて頂いています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	1	0	保護者の方と送迎時・面談時に話し合い子ども一人ひとりに合わせた支援計画を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1	0		今後も進めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1	0	子ども一人ひとりに合わせた療育・活動を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	0	会議や申し送りでは、意見の言いやすい環境作りを心掛けております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	0	毎週SST(グループワーク)の内容を変更・ステップアップするように心掛けております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	0	支援計画作成後にモニタリングを行い、保護者の方に確認して頂いております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0	療育前に申し送りをし、職員全員で確認しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	記録などで確認しながら報告し合い、問題点等あれば早急に解決するように徹底しております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0	療育の前後に確認し合い子どもに合わせた療育を行っております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	1	0	保護者の方と話し合い一緒に療育の課題設定を行っております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	0	管理責任者が出席するようにしております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	1		今のところ必要な利用者がない為対応しておりませんが1度ご相談ください。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	1		今のところ必要な利用者がない為対応しておりませんが1度ご相談ください。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	0		利用者全員が出来ている訳ではないので共有できる数を増やしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	0		利用者全員が出来ている訳ではない為改善していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	コロナ禍ではありますが研修に参加し、相互理解に深めるようにしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	0		時間の都合上出来ておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	0		市が開催して下さっているものには積極的に参加するようにしております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	送迎時・連絡帳などで日々の様子をお伝えしております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	0	ご家庭でも出来る支援方法を具体的に提案するようにしております。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0	契約時、分からない方には個別で説明させて頂いております。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	1	0	支援計画作成後、保護者の方に確認して頂いております。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	0	要望がございましたら、随時面談を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	0		コロナ禍の影響もあり開催出来ていなかった為落ち着き次第、開催出来るように企画していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	1	0	連絡帳・電話などで問題を先延ばししないように心掛けております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	0	活動内容をSNSに定期的に挙げている。	SNSに挙げた時は保護者に連絡して周知して頂けるよう改善していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	1	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	0	本児に合わせた絵カードやスケジュール表などを使って視覚支援を行っております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1		コロナ禍の影響、時間の都合上出来ておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	1	0	避難訓練を3か月に1回行っております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	定期的に避難訓練を行っております。	保護者の方に周知して頂けるようにSNSに挙げていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	0	契約時・送迎時等でその時の対処の仕方等を保護者の方に確認しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0		医師からの指示書を元に対応していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0	ファイルを作成し申し送り時に確認しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	年に3回ほど管理責任者が研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	0	契約時にご説明させて頂いております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。